

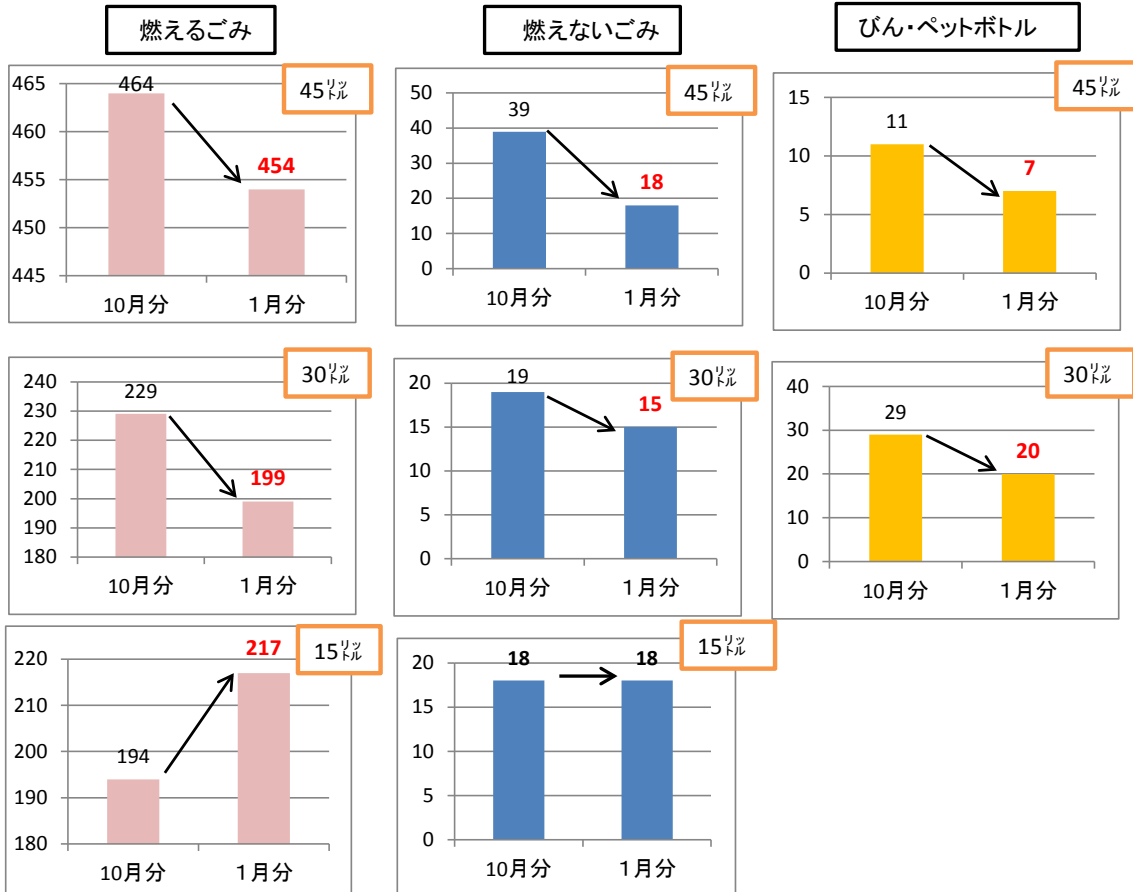
3 R 推進モニターの結果報告

1 福岡市 3 R 推進モニター概要

- (1) 取組期間
平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日
- (2) 参加者
245 名
- (3) 実績報告提出者
162 名 (提出率 66.1%)
- (4) 取組内容
 - ① 「買い物時にはマイバッグ持参」など約 20 項目の 3 R の取組みを実践
 - ② 実績報告書を市へ提出

2 取組みによる効果 (ごみ袋の排出数の推移)

【単位：袋】



(1) 燃えるごみについては、平成 25 年 10 月分と平成 26 年 1 月分の排出されたごみ袋を比較すると、45リットルのごみ袋はやや減少傾向、30リットルのごみ袋は約 1 割減少し、15リットルのごみ袋は約 1 割増加した。

(2) 燃えないごみについては、平成 25 年 10 月分と平成 26 年 1 月分の排出されたごみ袋を比較すると、45リットルのごみ袋は約 5 割減少し、30リットルのごみ袋は約 2 割減少、15リットルのごみ袋は変更なかった。

(3) びん・ペットボトルについては、平成 25 年 10 月分と平成 26 年 1 月分の排出されたごみ袋を比較すると、45リットルのごみ袋が約 4 割減少し、30リットルのごみ袋が約 3 割減少した。

取組み前の 10 月分と取組み最終月の 1 月分のごみ排出量を比較すると、燃えるごみがやや減少傾向、燃えないごみとびん・ペットボトルでごみの減量効果が見られた。

3 3Rの取組項目集計結果

(よくできた場合は5点, 少しでもできた場合は3点, できなかった場合は0点をモニターが記載)

点数は一人あたりの平均点, 朱書きの点数は11月と比較して0.4ポイント以上増えた箇所

1 リデュース(発生抑制)の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①マイバッグを持参してレジ袋はもらわない	4.52	4.60	4.54
②いらない割り箸や, スプーン, フォークなどはもらわない	4.44	4.60	4.48
③冷蔵庫の中のものの賞味期限を確認し, unnecessaryなものは買わない	3.78	4.07	4.29
④買い物は計画的に行う (unnecessaryなものは買わない)	3.45	3.81	4.04
⑤生鮮食料品は量り売りやばら売りを利用し, 必要なものだけを買う	2.69	3.10	3.33
⑥食事の作りすぎ, 食べ残しをしない (残飯を出さない)	4.22	4.32	4.30
⑦生ごみは水を切って出す	3.80	4.20	4.31
⑧過剰な包装は断っている	4.26	4.51	4.48
合計点	5,047	5,383	5,470
1人あたりの平均点	3.89	4.15	4.25

2 リユース(再使用)の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①シャンプーなどは詰め替え商品を購入し, ボトルなどは繰り返し使う	4.62	4.69	4.67
②調味料は詰め替え商品や繰り返し使うことができるリターナブルびんを選ぶ	3.51	3.77	3.91
③裏紙をメモ用紙などに使用する	4.02	4.17	4.24
④フリーマーケットやリサイクルショップ等を利用し処分する前に必要な人に使ってもらう	2.54	2.83	2.85
⑤フリーマーケットやリサイクルショップ等を利用して, ものを繰り返し使う	1.88	1.98	2.15
⑥古くなった洋服や家具などもリフォームやリメイクで再利用する	1.38	1.73	1.88
合計点	2,908	3,107	3,192
1人あたりの平均点	2.99	3.22	3.30

3 リサイクル(再生利用)の取組み	点数		
	11月	12月	1月
①びんは「燃えないごみ」ではなく, 「びん・ペットボトル」の袋に入れて出す	4.10	4.18	4.10
②ペットボトルはキャップとラベルをはずして出す	4.25	4.53	4.60
③アルミ缶は店頭回収や集団回収, 資源物回収拠点に出す	4.13	4.36	4.31
④使用済小型電子機器は緑色の回収ボックスに出す(回収ボックスの設置場所は別紙の回収ボックス一覧表を参照してください)	2.37	2.47	2.52
⑤雑紙(ティッシュの箱や菓子の紙箱, 包装紙など)は古紙として集団回収や資源物回収拠点に出す	3.54	3.70	3.95
⑥再生品の購入を心がける	2.58	2.71	3.01
合計点	3,396	3,556	3,646
1人あたりの平均点	4.19	4.42	4.53

4 3R推進モニターの主な意見及び感想等

1 資源物回収店について

トレー、牛乳パック、缶、びんすべての資源物を回収する店を増設してほしい。 満杯になっていることが多い、サイズを大きくしてほしい。

2 食品トレーについて

袋に入れるなどして食品トレーを減らしてほしい。 リサイクルできる白色トレーのみ使用してほしい。
--

3 レジ袋の削減について

値引きやポイント還元の方がレジ袋削減に効果がある。 有料化することはとても良いことだと思う。 コンビニが商品により袋を分けて入れるのはもったいない。
--

4 簡易包装について

無駄な包装はやめてほしい。 過剰な包装は特にデパートが多い。年配の方、目上の方に対する贈り物は失礼になるので、例えば「簡易包装にご協力ありがとうございます」シールを徹底してほしい。

5 その他意見について

家族が少ない世帯が多いので、ばら売りや少量販売を増やしてほしい。 お店側で「再生品」をもっと目立つようにしてほしい。 割りばしやスプーンなど「いらない」というのが面倒なので、必要なときだけ消費者が言う方がよい。 小分けや量り売りの単価が高いので、包装を省くなどしてコストを下げしてほしい。

6 質問

店頭回収の白色トレーに納豆のふたや焼きそばカップのふたは汚れていなければ入れてよいのか。
--

お答えします

家庭ごみの減量にご協力をいただき、ありがとうございます。納豆や焼きそばのカップの蓋については、店頭回収を実施している店舗により扱いが異なりますので、各店舗にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

7 工夫していること

生ごみはコンポストでたい肥にして活用している。 大学や商店、校区のフリーマーケットを利用している。 古い洋服は小さく切って雑巾や汚れた食器のふき取り布などに利用している。 不用品はリサイクルショップへ持参している。 長く使える物を吟味して買う。
--

8 感想

取組項目をチェックすることで、今まで気づかなかったことを気づくことができた。 とても良い勉強になった。今後も取り組んでいきたい。 マイバッグを持参する習慣がついた。 少しの手間が環境にも優しく、家計も助かることが徐々に分かってきた。 必要なものと不必要なものを見極める努力をするようになった。 小さいころから習慣づけるため、子どもと一緒に取り組んだ。
--